

法律学科カリキュラム・ポリシー

法学部 ディプロマ ・ポリシー (DP)	コンピテンス	コンピテンシー	法学部 カリキュラム ・ポリシー (CP)	法律学科カリキュラム・ポリシー	法律学科科目〔学年〕
＜自ら学ぶ＞					
DP1	豊かな教養・ 知識に基づく 高い倫理観	社会人たるに必要な 教養と社会科学の知 識を修得し、法令遵 守の精神と高い倫理 観に基づいて、自ら の使命・役割を果た すことができる。	CP1	● 現代社会における法の役割を理解し、説明することができる。 ● 高い倫理観と優れた人格を備えて、適切かつ責任ある行動をとることができる。 ● 他人の人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる。 ● 日本大学の学則に従って学生生活を過ごすことができる。	すべての法律学科科目
DP2	日本及び世界 の社会システムを 理解し説明する力	日本及び世界の法、 政治、行政、経済及 びジャーナリズムの しくみと、それが直 面している問題を理 解し、説明すること ができる。	CP2	● 日本及び世界の法の仕組みを理解し、的確に説明することができる。 ● 社会における法的問題を認識し、それにどのように取り組むべきかを述べることができる。	憲法Ⅰ〔1年〕・Ⅱ〔2年〕 民法Ⅰ〔1年〕・Ⅲ〔2年〕・Ⅳ〔2年〕・Ⅴ〔2年〕・Ⅵ〔2年〕・Ⅶ〔3年〕 刑法Ⅰ〔1年〕・Ⅱ〔2年〕 日本法制史Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 東洋法制史Ⅰ・Ⅱ〔4年〕 西洋法制史Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 法思想史Ⅰ・Ⅱ〔3年〕

					法哲学Ⅰ・Ⅱ〔3年〕など
＜自ら考える＞					
DP3	論理的・批判的思考力	社会通念をふまえ、論理的、科学的、合理的かつ批判的な考察を通じて、新たな「知」の創造に寄与することができる。	CP3	● 法律学の基礎的知識を身につけ、新たな知見を生み出すことができる。 ● 法律学の基礎的知識に基づいて、物事を論理的、合理的かつ批判的に考察することができる。	憲法Ⅰ〔1年〕・Ⅱ〔2年〕 行政法Ⅰ〔2年〕・Ⅱ〔3年〕 民法Ⅰ〔1年〕・Ⅱ〔2年〕・Ⅲ〔3年〕・Ⅳ〔2年〕・Ⅴ〔2年〕・Ⅵ〔2年〕・Ⅶ〔3年〕 商法Ⅰ〔2年〕・Ⅱ～Ⅴ〔3年〕 民事訴訟法〔2年〕 民事執行・保全法〔3年〕 刑法Ⅰ〔1年〕・Ⅱ〔2年〕 刑事訴訟法Ⅰ〔2年〕・Ⅱ〔3年〕 税法Ⅰ〔2年〕ⅡA・ⅡB〔3年〕ⅢA・ⅢB〔3年〕 倒産法Ⅰ・Ⅱ〔3年〕

					労働法Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 経済法Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 知的財産法Ⅰ～Ⅴ〔2年〕 地方自治法Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 比較憲法Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 経済刑法Ⅰ・Ⅱ〔3年〕 少年法Ⅰ・Ⅱ〔3年〕 刑事政策Ⅰ・Ⅱ〔3年〕 経済行政法Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 社会保障法Ⅰ・Ⅱ〔3年〕 金融商品取引法Ⅰ・Ⅱ〔3年〕 金融法Ⅰ・Ⅱ〔3年〕 メディア法Ⅲ〔2年〕など
DP4	問題発見・解決力	社会・共同体のさまざまな営みに自ら積極的にコミットする中で、事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。	CP4	● 社会における問題の解決にとって必要な情報を積極的に収集・分析し、それを解決策に役立てることができる。 ● 社会における法的問題を抽出し、専門的知識に基づく具体的な解決方法を示すことができる。 ● 法律学に関する体系的知識を修得し、法的観点に立って問題を解決することができる。	情報法Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 法学特殊講義Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 公法特殊講義ⅠA・ⅠB〔3年〕 公法特殊講義ⅡA・ⅡB〔4年〕 民事法特殊講義ⅠA～ⅣB〔4年〕 民事法特殊講義Ⅴ・Ⅵ〔3年〕 民事法特殊講義ⅦA・ⅦB〔4年〕

					刑事法特殊講義ⅠA・ⅠB〔3年〕 刑事法特殊講義ⅡA～ⅣB〔4年〕
＜自ら道をひらく＞					
DP5	挑戦力	法規範をはじめとする社会システムに関する専門的知識を基に、あきらめない気持ちをもって、より良い社会・共同体の創造に果敢に挑戦することができる。	CP5	● 法律学の専門的知識を基に、自らが取り組むべき課題を探究することができる。 ● 専門的知識・能力を社会の様々な領域に応用することにより、社会に貢献することができる。	法学Ⅰ〔1年〕 憲法Ⅰ〔1年〕・Ⅱ〔2年〕 行政法Ⅰ〔2年〕・Ⅱ〔3年〕 民法Ⅰ〔1年〕・Ⅱ〔2年〕・Ⅲ〔3年〕・Ⅳ〔2年〕・Ⅴ〔2年〕・Ⅵ〔2年〕・Ⅶ〔3年〕 商法Ⅰ〔2年〕・Ⅱ～Ⅴ〔3年〕 民事訴訟法〔2年〕 民事執行・保全法〔3年〕 刑法Ⅰ〔1年〕・Ⅱ〔2年〕 刑事訴訟法Ⅰ〔2年〕・Ⅱ〔3年〕など
DP6	コミュニケーション力	多様な伝統・文化・環境に育まれた他者の気質，感性及び価値観を理解・尊重	CP6	● コミュニケーション能力を高め，自らの考えを的確に伝えることができる。	法律外国語AⅠ・AⅡ〔1年〕 法律外国語BⅠ・BⅡ〔2年〕 法律外国語CⅠ・CⅡ〔3年〕

		し、社会・共同体の中で積極的にコミュニケーションを実践し、自らの考えを伝えることができる。		● 世界に発信できる語学力を身につけることにより、社会の中で積極的にコミュニケーションを図ることができる。 ● 他者とのコミュニケーションを通じて、多様な価値観を理解・尊重することができる。	外国法 A I ・ A II (英米, 独, 仏, EU, アジア) [2 年] 外国法 B I ・ B II (英米, 独, 仏, EU, アジア) [2 年] 国際関係法〔公法系〕A I ・ A II [2 年] 国際関係法〔公法系〕B I ・ B II [3 年] 国際関係法〔私法系〕A I ～B II [3 年] など
DP7	リーダーシップ・協働力	社会・共同体のさまざまな活動において、より良い成果を上げるために、お互いを尊重し、自らすすんで協働するとともに、リーダーとして協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。	CP7	● リーダーとしての役割を理解し、社会の中でリーダーシップを発揮することができる。 ● 他者を尊重し、信頼関係を構築することにより、協働して問題解決に取り組むことができる。 ● 問題解決のために話し合いの場を設け、自主的に問題を解決することができる。	法学演習 A I ・ B I ・ C I [1 年] 法学演習 A II ・ B II ・ C II [1 年] 法学演習 D I ・ E I [2 年] 法学演習 D II ・ E II [2 年] ゼミナール [3～4 年]
DP8	省察力	他者による評価を謙虚に受け止め、自己の活動がより良い社	CP8	● 他者の意見を謙虚に受け入れ、自己の達成度を客観的に分析した上で、さらなる目標を定めて、それを達成するために積極的に取り組むことができる。	公法特殊講義 I A ・ I B [3 年] 公法特殊講義 II A ・ II B [4 年]

		会・共同体の創造に 貢献することができ たかを振り返ること により，生涯にわた り，社会人としての 自己を高めることが できる。			民法法特殊講義ⅠA～ⅣB 〔4年〕 民法法特殊講義Ⅴ・Ⅵ〔3年〕 民法法特殊講義ⅦA・ⅦB〔4 年〕 刑法法特殊講義ⅠA・ⅠB〔3 年〕 刑法法特殊講義ⅡA～ⅣB 〔4年〕 ゼミナール〔3年～4年〕
--	--	---	--	--	--

法律学科 学年（段階）ごとの目標

年次	目標
1 年次 《 1 段階 》	・ 法律学の重要性を理解し，自らの考えを述べることができる。
2 年次 《 2 段階 》	・ 法律学の基礎的知識を基に，物事を法的に思考することができる。
3 年次 《 3 段階 》	・ 法律学に関する体系的知識を基に，法的視点により問題を解決することができる。
4 年次 《 4 段階 》	・ 修得した専門的知識・能力を社会の様々な職域に応用することができる。